



ルールとマナーについて

先週2日(水)の全校集会で、「ルールとマナー」について話をしました。

日々の学校生活の中にはいくつかの「ルール」があります。時間(校時)を守る、制服を正しく着るなど、これらは学校で定められた決まりごと、つまり「校則」です。しかし、最近になってタブレット端末の使い方が守られていないことが発覚しました。そこで、改めて「ルール」と「マナー」の違いについて理解し、行動できるようになってほしいという願いを込めて話した次第です。以下、その概要です。

「ルール」は、みんなが安全に、気持ちよく過ごすための決まりであり、守らなければ罰則(ペナルティー)があることが一般的です。法律や校則、交通規則、競技規則などがその代表です。一方で「マナー」は、人との関わりの中で生まれる思いやりの心や、相手への配慮から生まれる行動です。例えば、あいさつをする、人の話は目を見て聞く、図書館など公共の場では静かにするなど、こうした行動はマナーにあたります。できないと周りの人が嫌な気持ちになります(周りの人に迷惑をかけます)。

ルールは守ることが当然ですが、マナーは守らなくてもいいということではありません。むしろ、マナーを大切にできる人こそが、周囲の人から信頼され、よりよい人間関係を築いていけると思います。

社会に出れば、マナーの重要性はさらに増します。マナーがその人の「人となり」を表す場面は少なくありません。これからの学校生活では、「ルールを守ること」と同時に、「マナーを考えて行動すること」を大切にしてほしいと思います。

ぜひ、日々の生活の中で、「これはルールなのか、マナーなのか？」と立ち止まって考え、相手の立場に立った行動を心がけてほしいと思います。その積み重ねが、学校全体の雰囲気をもっと温かく、より信頼に満ちたものにしてくれるものと思います。

これからも、「思いやり」と「気づき」のある行動を大切に、山代中の子どもたちが素敵な大人へと成長してほしいと願っています。

お願いがあります(二つも)

一つ目 先週 7/4 のあんしんメールでもお願いしておりましたが、「英検受験料に係る委任状」を今週末(7/11)までにご提出くださいますようお願いいたします。

二つ目 生徒会では、ペットボトルのキャップを集め、「世界の子どもたちへワクチンを届ける活動」を行っております。ぜひ、ご協力ください。

校長室より★

「世界平和」って、一見すると大きすぎて手の届かない理想のように感じることもありますが、そう願い続ける心がある人がいるからこそ、少しずつでも前に進めるのだと思います。現実には厳しい場面が多いですが、七夕のような小さな願いの積み重ねが、いつか世界全体に静かに広がっていく…そんな奇跡を信じたいです。たとえば、困っている人に手を差し伸べたり、異なる価値観の人と敬意をもって接したりする行動そのものが、「平和の種」になるのかもしれない。

短冊に書いた願いが、誰かの心にも届きますように。そして、そんな心が世界のどこかでまた新しい優しさを生んでいきますように。